

第1章 地区の現況及び課題

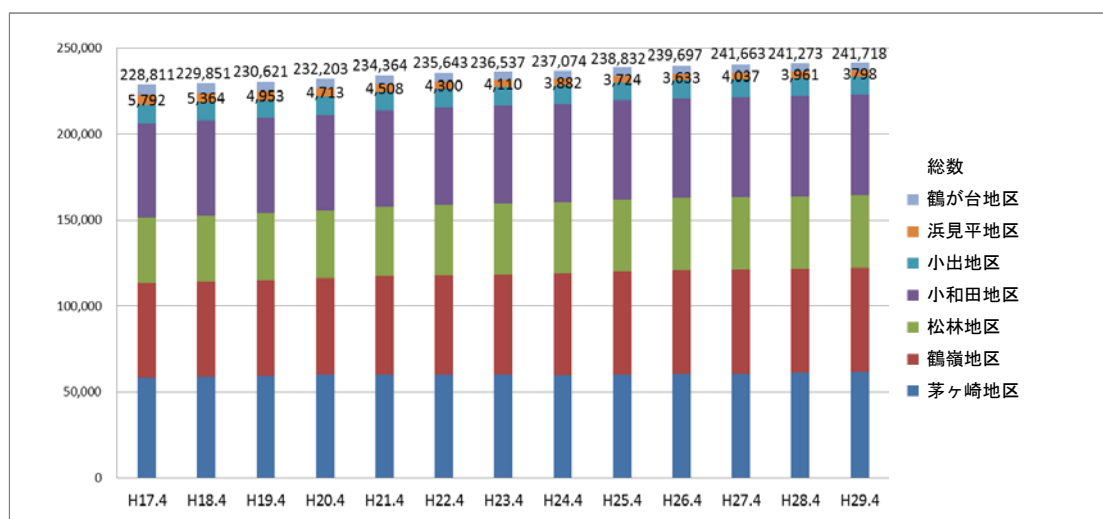
1 人口

(1) 総人口の推移

市全体の人口推移をみると、伸びは鈍化しているものの、ゆるやかな増加傾向が維持されています。浜見平地区の人口をみると、団地建替え事業に伴う賃貸住宅の募集停止の影響により平成26年4月まで減少傾向となっていますが、翌年は増加しています。その要因としては民間分譲集合住宅に新たに入居されたためと考えられます。

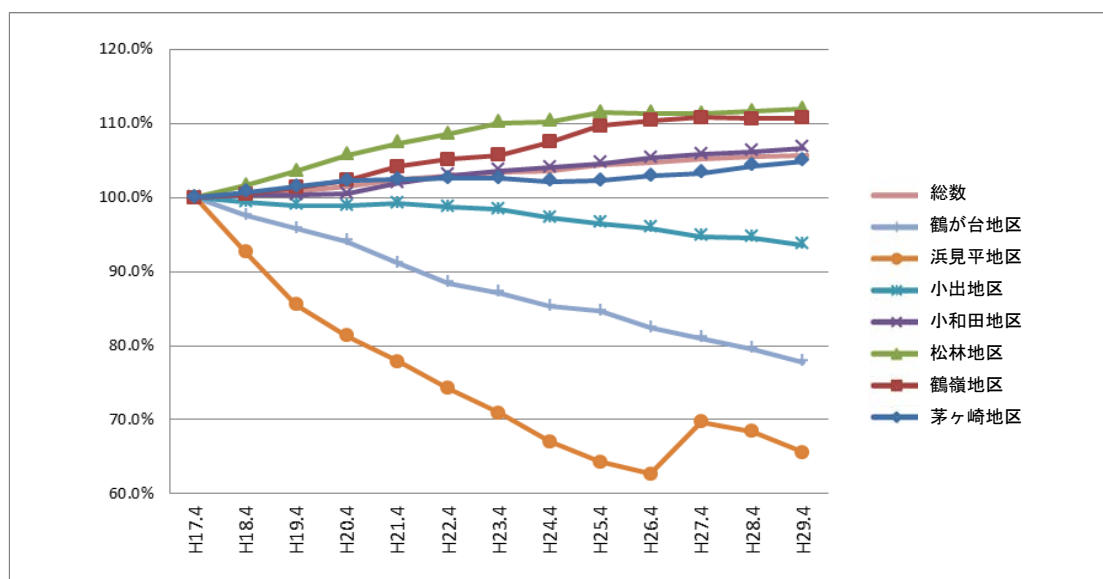
また、都市マスタープランによる市全体の将来人口推計では、平成32年をピークとして減少傾向に転じると予測されています。

浜見平地区においては将来人口需要を踏まえ、成熟型社会に向けた、「量」の確保から「質」の充実を目指すまちづくりが求められており、ゆとりある住環境面積の確保やオープンスペース*の充実を図る等、住環境の質の向上に対応していく必要があります。



資料：住民基本台帳

■人口の推移



資料：住民基本台帳

■人口増加率の推移（基準時点：H17.4）

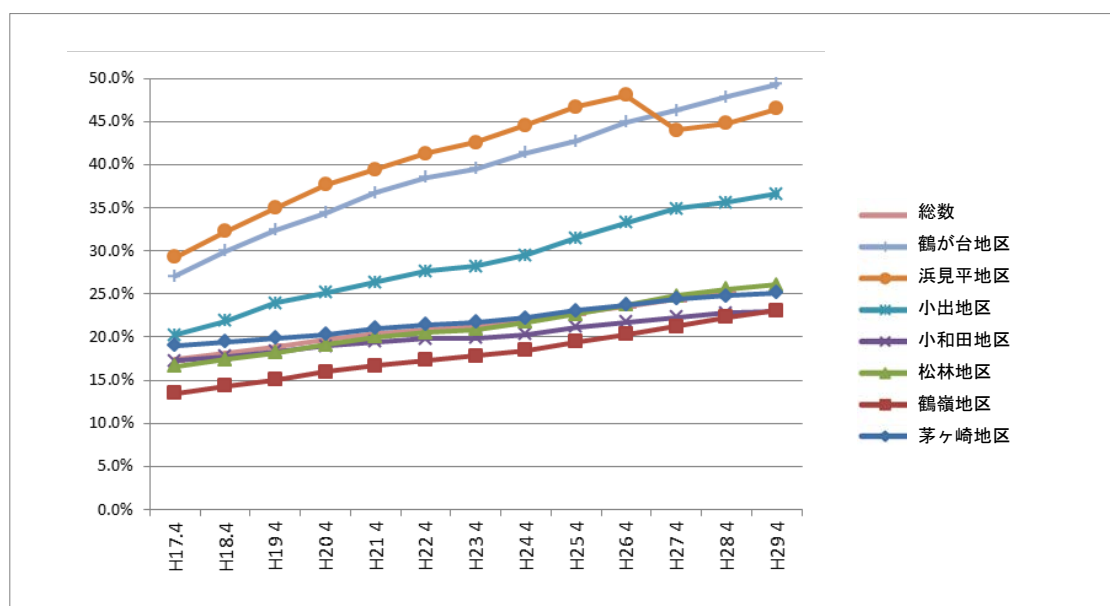
*オープンスペース：開放された空間、緑地。

(2) 高齢者人口

市の将来人口推計において、総人口は平成 32 年以降、減少に転じていますが、高齢者（65 歳以上）人口に限っては、増加傾向が継続するものと予測されています。

現在の浜見平地区の高齢者人口の割合をみると、平成 26 年 4 月までは市内で最も高い値を示していましたが、翌年は一旦改善されているものの再び増加傾向にあります。高齢化の進展が著しい浜見平地区において、今後の高齢化の進展に伴い、高齢者単身世帯の孤立化や担い手不足による住民活動の困難化等、コミュニティにおける高齢者問題の顕在化が懸念されます。

浜見平地区のまちづくりにおいては、介護等ケアサービス*やバリアフリー*への対応を図ることに加え、多様な世代が暮らし、交流し、支えあうことのできるコミュニティへと再生していくことが求められており、新たなファミリー層の入居等に積極的に対応していく必要があります。



資料：住民基本台帳

■人口に占める高齢者（65 歳以上）の割合

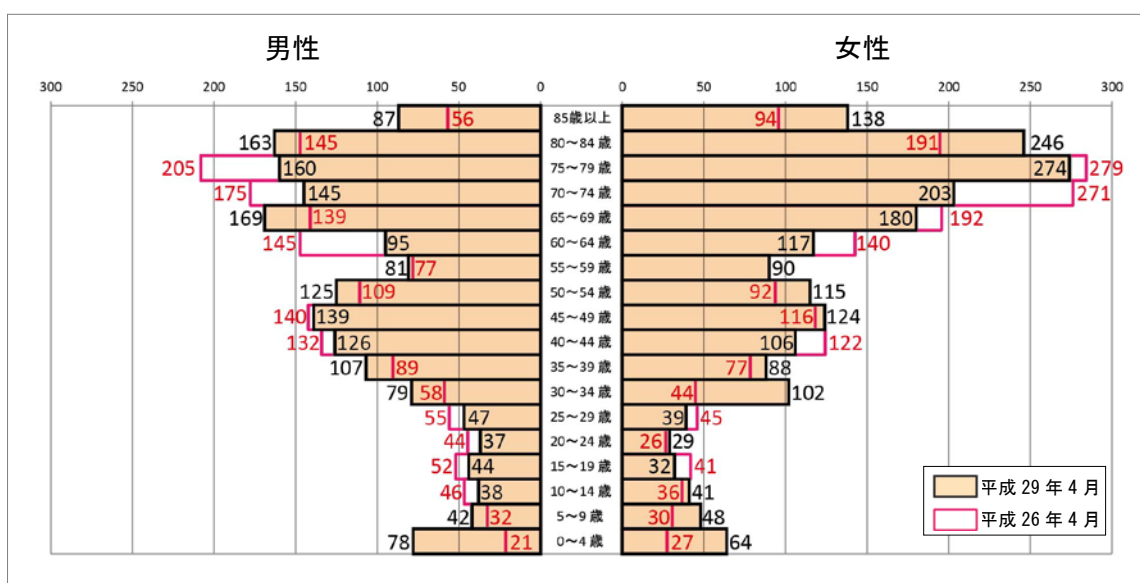
*ケアサービス：介護支援サービス。

*バリアフリー：障害者や高齢者の生活に不便な障害を取り除こうという考え方。

(3) 年齢構成

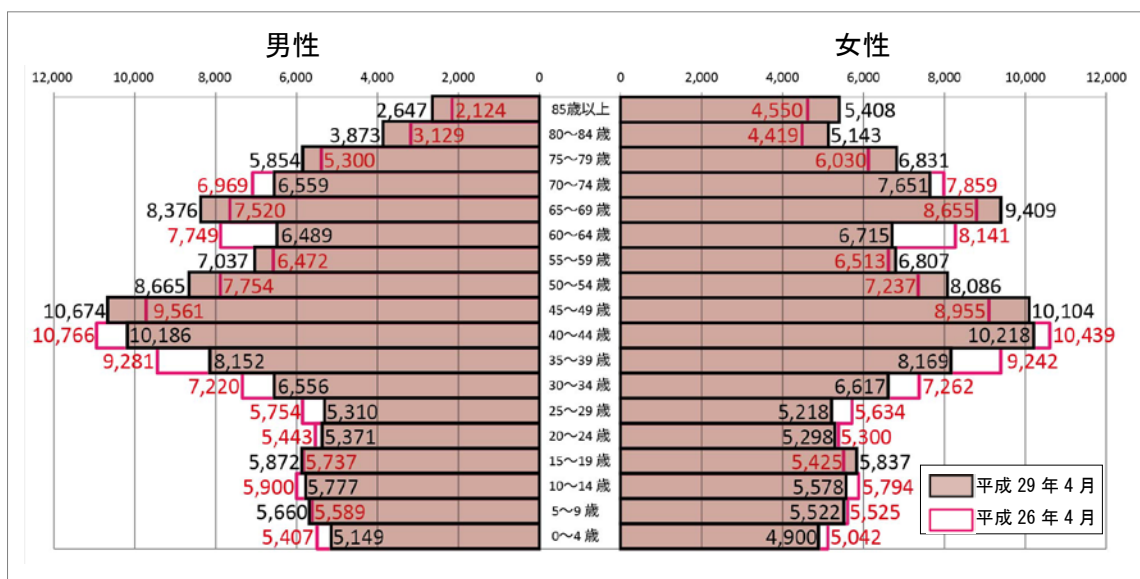
浜見平地区の年齢構成を見ると、平成29年では、0～9歳と30歳台が増加しており、民間分譲集合住宅の供給による影響と考えられます。しかし、浜見平地区と全市を比べると、年少人口（0～14歳）と生産年齢人口（15～64歳）がともに少なく、老年人口（65歳～）が多くなっています。

今後の地区の建替えにおいては、ミクストコミュニティを実現するため、さらなるファミリー層や若者の入居を推進する取り組みが必要です。



資料：住民基本台帳

■浜見平地区における年齢構成（5歳階級別人口）



資料：住民基本台帳

■茅ヶ崎市における年齢構成（5歳階級別人口）